

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

- 音楽に対する理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
- 音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 主体的・協働的に学習に取り組み、音楽の楽しさを体験することで、音楽文化に親しみ、生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
- 日本で長く歌われ親しまれている歌曲や日本の伝統的な音楽に触れることによって、古くから受け継がれてきた日本の音楽のよさを味わい、愛着をもつ。

2 年間学習計画と領域(題材名)

月	領域名	内容(題材名)	達成目標(ねらい)
4 7 9 10 2 3	歌唱	・「花」 ・合唱コンクールの課題曲、自由曲 ・卒業式 式歌(2曲)	①曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 ②音色やテクスチャの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 ③曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。
6	器楽	・リズム打ち	①曲想と音楽の構造について理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。 ②音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。 ③パートの役割に関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。
12	創作	・ My Melody	①音のつながり方の特徴について、表現したいイメージと関わらせて理解するとともに、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。 ②知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。 ③音のつながり方の特徴に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習に取り組む。
5 11 1 2	鑑賞	・「ブルタバ」 ・能「敦盛」 ・耳でたどる音楽史	①曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 ②音色、旋律、テクスチャ、強弱、形式を知覚し、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏についての評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く。 ③曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。

3 評価方法

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・実技テスト ・定期考査
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することができる。 ・音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・ワークシート ・実技テスト ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・振り返りカード ・ワークシート

4 授業の取り組みについてのアドバイス

- ・毎回の授業を大切にし、一生懸命取り組もう。
- ・学習用具の忘れ物をしないようにしよう。
- ・出された課題にはていねいに取り組もう。
- ・音楽を楽しむ雰囲気を大切に、クラス全員で授業をつくりあげよう。
- ・授業での説明や音楽をよく聴き、必要に応じてメモをとっておこう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・歌詞や記号などに注目し、曲の理解を深めよう。
- ・鑑賞した曲の背景や特徴について確認しておこう。

6 定期考査前の取り組みについてのアドバイス

- ・授業で配布されたプリントや楽譜をしっかりと見直しておこう。
- ・歌詞や作詞作曲者、音楽用語などの基本的な事項は正確に覚えよう。
- ・授業でお話したことをよく思い出しておこう。

7 苦手な人の取り組みについてのアドバイス

積極的に活動に取り組む姿勢を大切にしたいと思っています。どんな活動にもとにかく一生懸命に取り組むことが大切です。音楽は一生懸命に取り組むことで少しずつ力が付いていきます。上手くいかなくても前向きに粘り強く取り組みましょう。特に歌や楽器の実技は、繰り返し練習するとよいでしょう。そして、音楽を楽しむという気持ちをどうか忘れないでください。みんなで1つの音楽をつくりあげ、感動を味わう経験は何ものにも代え難いものになるはずですよ。